

## カリキュラム・マップ

文学部の教育目的
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。

学修成果	
<p>【学部全体】</p> <p>「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。</p> <p>① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること</p> <p>② テキストを正確に読解できること</p> <p>③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること</p> <p>④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと</p> <p>⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと</p>	<p>史学科は、過去を知り未来を志向するなかで、総合的な人間理解に達することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本史学専修では日本に関する史料に基づく歴史研究の手法および発想が身につく。</li> <li>・世界史学専修では大陸世界と海域世界の史料に基づく歴史研究の手法および発想が身につく。</li> <li>・超域文化学専修では複合社会文化論、文化人類学、アメリカ社会史、地域研究論、文化環境学の研究手法および発想が身につく。</li> </ul>

文学部史学科のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)人文学の発想を幅広く深く身につける	2)テキストを正確に読解できる	3)テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できる	4)複数のテキストや事象にわたる主題についてその細部を分析し、総合する思考力を獲得する	5)日本に関する史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	6)大陸世界と海域世界の史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	7)複合社会論、文化人類学、アメリカ社会史、地域研究論、文化環境学の研究手法・発想を身につける
入門演習 G1a~G1i	必修 (指定科目A)	1	大学で学ぶ「歴史学」や「超域文化学」の考え方や基礎的方法に慣れる。	◎	◎	○		○	○	○
" G2a~G2i	必修 (指定科目A)	1	同上	◎	◎	○		○	○	○
卒業論文(制作)予備演習	必修 (指定科目A)	3	卒業論文(制作)の準備を行い、12,000字以上のレポートを完成させる。	◎	◎	◎	◎			
演習G1~12	選択 (指定科目B1)	2~4	世界史の文献や史料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の研究テーマを設定して先行研究や史料を収集・読解・報告し、他学生や教員との議論を深める。	◎	◎	◎	○	◎		
" G13~24	選択 (指定科目B1)	3~4	世界史の文献や史料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の設定した研究テーマの先行研究や史料を収集・分析して報告し、他学生や教員と議論を深めつつ卒業論文の準備に努める。	◎	◎	◎	◎	◎		
" H1~12	選択 (指定科目B1)	2~4	日本史の文献や史料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の研究テーマを設定して先行研究や史料を収集・読解・報告し、他学生や教員との議論を深める。	◎	◎	◎	○		◎	
" H13~24	選択 (指定科目B1)	3~4	日本史の文献や史料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の設定した研究テーマの先行研究や史料を収集・分析して報告し、他学生や教員と議論を深めつつ卒業論文の準備に努める。	◎	◎	◎	◎		◎	
" I1~12	選択 (指定科目B1)	2~4	超域文化学の文献や資料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の研究テーマを設定して先行研究や資料を収集・読解・報告し、他学生や教員との議論を深める。	◎	◎	◎	○			◎
" I13~24	選択 (指定科目B1)	3~4	超域文化学の文献や資料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の設定した研究テーマの先行研究や資料を収集・分析して報告し、他学生や教員と議論を深めつつ卒業論文の準備に努める。	◎	◎	◎	◎			◎
フィールドワークH1a	選択 (指定科目B2)	2~4	様々な地域へ赴き、歴史学の史料の収集方法、現地調査の方法などを学ぶ。	◎	◎	◎	○	◎		
" H1b	選択 (指定科目B2)	2~4	同上					◎		
" H2a	選択 (指定科目B2)	2~4	同上					◎		
" H2b	選択 (指定科目B2)	2~4	同上						◎	
フィールドワークI1	選択 (指定科目B2)	2~4	文化人類学、人文地理学、民俗学などの手法を用いて、実際に情報を収集し、地域研究をすすめる力を養う。	◎	◎	◎	○			◎
" I2	選択 (指定科目B2)	2~4	文化人類学、人文地理学、民俗学などの手法を用いて、実際に情報を収集し、地域研究をすすめる力を養う。報告書にまとめる作業を通じて、基本的な表現手法を学ぶ。	◎	◎	◎	◎			◎
専門基礎1 (アジア・アフリカ系言語1)	選択 (指定科目B2)	2~4	主として歴史研究に必要なインドネシア語の基礎を学ぶ。		◎					
" 2 (アジア・アフリカ系言語2)	選択 (指定科目B2)	2~4	同上		◎					
" 3 (ヨーロッパ系言語1)	選択 (指定科目B2)	2~4	主として歴史研究に必要なイタリア語の基礎を学ぶ。		◎					
" 4 (イングリッシュ・コンプリヘンション)	選択 (指定科目B2)	2~4	主として歴史研究に必要な英語の文章の読解能力を身につける。		◎					
" 5 (アカデミックライティング)	選択 (指定科目B2)	2~4	歴史の論文を英語で執筆する際の基礎について学ぶ。		◎					
" 6 (ヨーロッパ系言語2)	選択 (指定科目B2)	2~4	主として歴史研究に必要なイタリア語の基礎を学ぶ。		◎					
" 7 (ヨーロッパ系言語3)	選択 (指定科目B2)	2~4	主として歴史研究に必要な諸言語の基礎を学ぶ。		◎					
" 8	選択 (指定科目B2)	2~4	(2014年度以降開講しない)		◎					
" 9 (近代史料論)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。		◎					
" 10 (現代史料論)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。		◎					
" 11 (古文書1)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。 (2020年度以降開講しない)		◎					
" 12 (古文書2)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。 (2020年度以降開講しない)		◎					
" 13 (アジア・アフリカ系言語3)	選択 (指定科目B2)	2~4	トルコ語の基礎を習得し、将来の研究に使用できるようになる。		◎					

文学部史学科のカリキュラム			文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)人文学の発想を幅広く深く身につける	2)テキストを正確に読解できる	3)テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できる	4)複数のテキストや事象にわたる主題についてその細部を分析し、総合する思考力を獲得する	5)日本に関する史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	6)大陸世界と海域世界の史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	7)複合社会論、文化人類学、アメリカ社会史、地域研究論、文化環境学の研究方法・発想を身につける
" 14	選択 (指定科目B2)	2~4	スワヒリ語の初歩的な会話技術を習得する。 (2018年度開講しない)		◎					
" 15 (カルトグラフィ)	選択 (指定科目B2)	2~4	図像での表現方法を学び、実際に生かす方法を習得する。							◎
" 16 (フィールドワーク方法論)	選択 (指定科目B2)	2~4	フィールドワークの理論と方法を学ぶ。							◎
" 17 (古文書・古代)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。		◎					
" 18 (古文書・中世)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。		◎					
" 19 (古文書・近世)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。		◎					
宗教の多様性と社会	選択 (指定科目B2)	2~4	新設2019年度から開講予定							◎
史学講義1 (地中海世界1)	選択 (指定科目C)	2~4	古代から中世半ばまでの地中海世界の歴史的問題について学ぶ。						◎	
史学講義2 (地中海世界2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義3 (前近代ヨーロッパ1)	選択 (指定科目C)	2~4	ヨーロッパの中世から近世にかけての歴史的問題について学ぶ。						◎	
史学講義4 (前近代ヨーロッパ2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義5 (近代ヨーロッパ1)	選択 (指定科目C)	2~4	ヨーロッパの近代の歴史的問題について学ぶ。						◎	
史学講義6 (近代ヨーロッパ2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義7 (グローバルヒストリー)	選択 (指定科目C)	2~4	諸世界の歴史的形成・特質を一国史の枠にとらわれずに理解する。						◎	
史学講義8 (地域からの歴史)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義9 (前近代東アジア・ユーラシア1)	選択 (指定科目C)	2~4	前近代東アジア・ユーラシアの歴史的發展について学ぶ。						◎	
史学講義10 (前近代東アジア・ユーラシア2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義11 (前近代における法と国家)	選択 (指定科目C)	2~4	古代・中世の社会的、政治的・思想的問題について学ぶ。						◎	
史学講義12	選択 (指定科目C)	2~4	(2012年度以降開講しない)						◎	
史学講義13 (近代東アジア・ユーラシア1)	選択 (指定科目C)	2~4	近代東アジア・ユーラシアの歴史的發展について学ぶ。						◎	
史学講義14 (近代東アジア・ユーラシア2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義15 (アジア海域1)	選択 (指定科目C)	2~4	アジアの海域世界における諸地域の人々との交流について学ぶ。						◎	
史学講義16 (アジア海域2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義17 (世界大戦とヨーロッパ)	選択 (指定科目C)	2~4	2次にわたる大戦のあった20世紀のヨーロッパの歴史的問題について学ぶ。						◎	
史学講義18 (世界大戦とアジア)	選択 (指定科目C)	2~4	第二次世界大戦におけるアジア社会の問題について学ぶ。						◎	
史学講義19 (近現代における法と社会)	選択 (指定科目C)	2~4	中世から現代までの東ヨーロッパとロシアにおける歴史的問題について学ぶ。						◎	
史学講義20	選択 (指定科目C)	2~4	(2013年度以降開講しない)						◎	
史学講義21 (社会史の方法)	選択 (指定科目C)	2~4	アナール学派をはじめとする現在の社会史研究の方法、特徴について学ぶ。						◎	
史学講義22 (マイノリティと境界)	選択 (指定科目C)	2~4	歴史におけるマイノリティや周縁の人々の諸問題について学ぶ。						◎	
史学講義23 (人間と都市)	選択 (指定科目C)	2~4	アジアやヨーロッパの諸都市の歴史的發展について学ぶ。						◎	
史学講義24 (人間と環境)	選択 (指定科目C)	2~4	アジアやヨーロッパの過去の環境について学ぶ。						◎	
史学講義25 (信仰と知の歴史1)	選択 (指定科目C)	2~4	アジアやヨーロッパの諸都市の歴史的發展について学ぶ。社会における精神活動の歴史的發展について学ぶ。						◎	
史学講義26 (信仰と知の歴史2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義27 (古代日本とアジア1)	選択 (指定科目C)	2~4	古代日本史をアジア史の中に位置付けて考察する。					◎		
史学講義28 (古代日本とアジア2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上					◎		
史学講義29 (律令国家論1)	選択 (指定科目C)	2~4	律令制国家に関する諸テーマについて知識を身につけるとともに理解を深める。					◎		
史学講義30 (律令国家論2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上					◎		
史学講義31 (中世日本史論1)	選択 (指定科目C)	2~4	中世日本に関する歴史学上の諸テーマについて知識を身につけるとともに洞察力を深め、中世日本の特徴を理解する。					◎		
史学講義32 (中世日本史論2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上					◎		
史学講義33 (中世日本と世界)	選択 (指定科目C)	2~4	中世日本を世界史的視野から考察し、その特徴について知識を身につけるとともに理解を深める。					◎		
史学講義34 (中世国家と民衆)	選択 (指定科目C)	2~4	中世日本を民衆の視点から考察し、その特徴について知識を身につけるとともに理解を深める。					◎		
史学講義35 (近世日本史論)	選択 (指定科目C)	2~4	近世日本に関する歴史学上の諸テーマについて知識を身につけるとともに洞察力を深め、近世日本の特徴を理解する。					◎		
史学講義36 (伝統社会史論1)	選択 (指定科目C)	2~4	「伝統社会」に関する人々の認識について考察し、理解を深める。					◎		

文学部史学科のカリキュラム			文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)人文学の発想を幅広く深く身につける	2)テキストを正確に読解できる	3)テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できる	4)複数のテキストや事象にわたる主題についてその細部を分析し、総合する思考力を獲得する	5)日本に関する史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	6)大陸世界と海域世界の史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	7)複合社会論、文化人類学、アメリカ社会学、地域研究論、文化環境学の研究方法・発想を身につける
史学講義37 (近世日本と世界)	選択 (指定科目C)	2~4	近世日本を世界史的視野から考察し、その特徴について知識を身に付けるとともに理解を深める。					◎		
史学講義38 (日本社会史論1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本社会史に関する諸テーマをとりあげ、日本社会の歴史的特徴について理解を深める。					◎		
史学講義39 (近代日本史論1)	選択 (指定科目C)	2~4	近代日本に関する歴史学上の諸テーマについて知識を身に付けるとともに洞察力を深め、近代日本の特徴を理解する。					◎		
史学講義40 (近代日本史論2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上					◎		
史学講義41 (近代日本と世界)	選択 (指定科目C)	2~4	近代日本を世界史的視野から考察し、その特徴について知識を身に付けるとともに理解を深める。					◎		
史学講義42 (日本女性史)	選択 (指定科目C)	2~4	日本史を女性やジェンダーの視点から考察し、その特徴について理解する。					◎		
史学講義43 (現代日本史論)	選択 (指定科目C)	2~4	現代日本に関する歴史学上の諸テーマについて知識を身に付けるとともに洞察力を深め、その特徴を理解する。					◎		
史学講義44 (現代日本と世界)	選択 (指定科目C)	2~4	現代日本を世界史的視野から考察し、その特徴について理解する。					◎		
史学講義45 (伝統社会史論2)	選択 (指定科目C)	2~4	「伝統社会」に関する人々の認識について考察し、理解を深める。					◎		
史学講義46 (日本社会史論2)	選択 (指定科目C)	2~4	日本社会史に関する諸テーマをとりあげ、日本社会の歴史的特徴について理解を深める。					◎		
史学講義47 (戦争と平和の歴史1)	選択 (指定科目C)	2~4	戦争の勃発や平和の構築に関する歴史学上の諸テーマについて理解を深める。					◎		
史学講義48 (戦争と平和の歴史2)	選択 (指定科目C)	2~4	戦争の勃発や平和の構築に関する歴史学上の諸テーマについて理解を深める。					◎		
史学講義49 (都市と村落)	選択 (指定科目C)	2~4	日本史における都市と農村の構造や関係性に関する、歴史学上の諸テーマについて理解を深める。					◎		
史学講義50 (日本の思想・文化)	選択 (指定科目C)	2~4	日本の思想・文化について歴史的視点から考察し、その特徴について理解を深める。					◎		
史学講義51 (日本変動期史論1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本史上の変動期に関して知識を深め、その因果関係について理解を深める。					◎		
史学講義54 (史料学)	選択 (指定科目C)	2~4	日本史の研究に利用しうる様々な史料について具体的な事例から理解を深める。					◎		
超域文化学講義1 (文化人類学1)	選択 (指定科目C)	2~4	文化人類学の基礎的な考え方を学ぶ。							◎
超域文化学講義2 (文化人類学2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義3 (地域研究論1)	選択 (指定科目C)	2~4	地域研究の基本的な考え方を具体的に地域を取り上げながら学ぶ。							◎
超域文化学講義4 (地域研究論2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義5 (地域研究論3)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義7 (アメリカ社会史1)	選択 (指定科目C)	2~4	複合的な視点からアメリカ史を理解することができるようになる。							◎
超域文化学講義8 (アメリカ社会史2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義9 (アメリカ社会史3)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義11 (イスラーム複合社会史1)	選択 (指定科目C)	2~4	イスラーム史をその前史、周辺地域の歴史との観婦負から複合的に理解できるようになる。							◎
超域文化学講義12 (イスラーム複合社会史2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義13 (イスラーム複合社会論1)	選択 (指定科目C)	2~4	イスラーム文化を地獄的な視点から理解できるようになる。							◎
超域文化学講義14 (イスラーム複合社会論2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義15 (文化環境学1)	選択 (指定科目C)	2~4	文化環境学の基礎を学び、人間の生活を相対的に眺める視点を獲得することができる。							◎
超域文化学講義16 (文化環境学2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義17 (農耕牧畜論)	選択 (指定科目C)	2~4	農耕・牧畜の生業に着目して人間の生活を鳥瞰できるようになる。							◎
超域文化学講義18 (考古学)	選択 (指定科目C)	2~4	考古学の基礎を学び、現在の生活を相対的に見る視点を養うことができる。							◎
超域文化学講義19 (都市空間論)	選択 (指定科目C)	2~4	都市的な空間の理解をすすめて、そこでの生活の特性を理解できるようになる。							◎
超域文化学講義20 (文化ダイナミクス論)	選択 (指定科目C)	2~4	文化の動態について学び、現在の社会を相対的に見る視点を獲得する。							◎
超域文化学講義21 (フォークロア1)	選択 (指定科目C)	2~4	具体的な事例に基づいて民族学の基礎を学ぶ。							◎
超域文化学講義22 (フォークロア2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義23 (比較技術論)	選択 (指定科目C)	2~4	技術の視点から人間の生活を横断的に比較し、その動態を理解できるようになる。							◎
超域文化学講義24 (人類生態学)	選択 (指定科目C)	2~4	具体的な事例に基づき、人類生態学の基礎を学ぶ。							◎
自然地理学1	選択 (指定科目C)	2~4	自然地理学の基礎を学び、地球全体の環境を意識できるようになる。							◎
" 2	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
比較政治史1	選択 (指定科目C)	2~4	政治史に関係する諸テーマについて比較史の視点から考察する。						◎	
" 2	選択 (指定科目C)	2~4	同上					◎		
地理学概説1	選択 (指定科目C)	1~4	地理学の基礎を学び、人間の生活の多様性を理解できるようになる。							◎

文学部史学科のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)人文学の発想を幅広く深く身につける	2)テキストを正確に読解できる	3)テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できる	4)複数のテキストや事象にわたる主題についてその細部を分析し、総合する思考力を獲得する	5)日本に関する史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	6)大陸世界と海域世界の史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	7)複合社会論、文化人類学、アメリカ社会史、地域研究論、文化環境学の研究方法・発想を身につける
" 2	選択 (指定科目C)	1~4	同上							◎
地誌学1	選択 (指定科目C)	1~4	具体的な事例に基づいて地域と生活の密接な関係を理解できるようになる。							◎
" 2	選択 (指定科目C)	1~4	同上							◎
卒業論文(制作)・卒業論文(制作) 指導演習	選択 (指定科目C)	4	大学での4年間の学習・研究の成果を卒業論文または卒業制作としてまとめる。			◎	◎			
社会学	専門関連	1~4	学科固有の学問領域を「社会学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
経済学	専門関連	1~4	学科固有の学問領域を「経済学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
法学	専門関連	1~4	学科固有の学問領域を「法学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
政治学	専門関連	1~4	学科固有の学問領域を「政治学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		